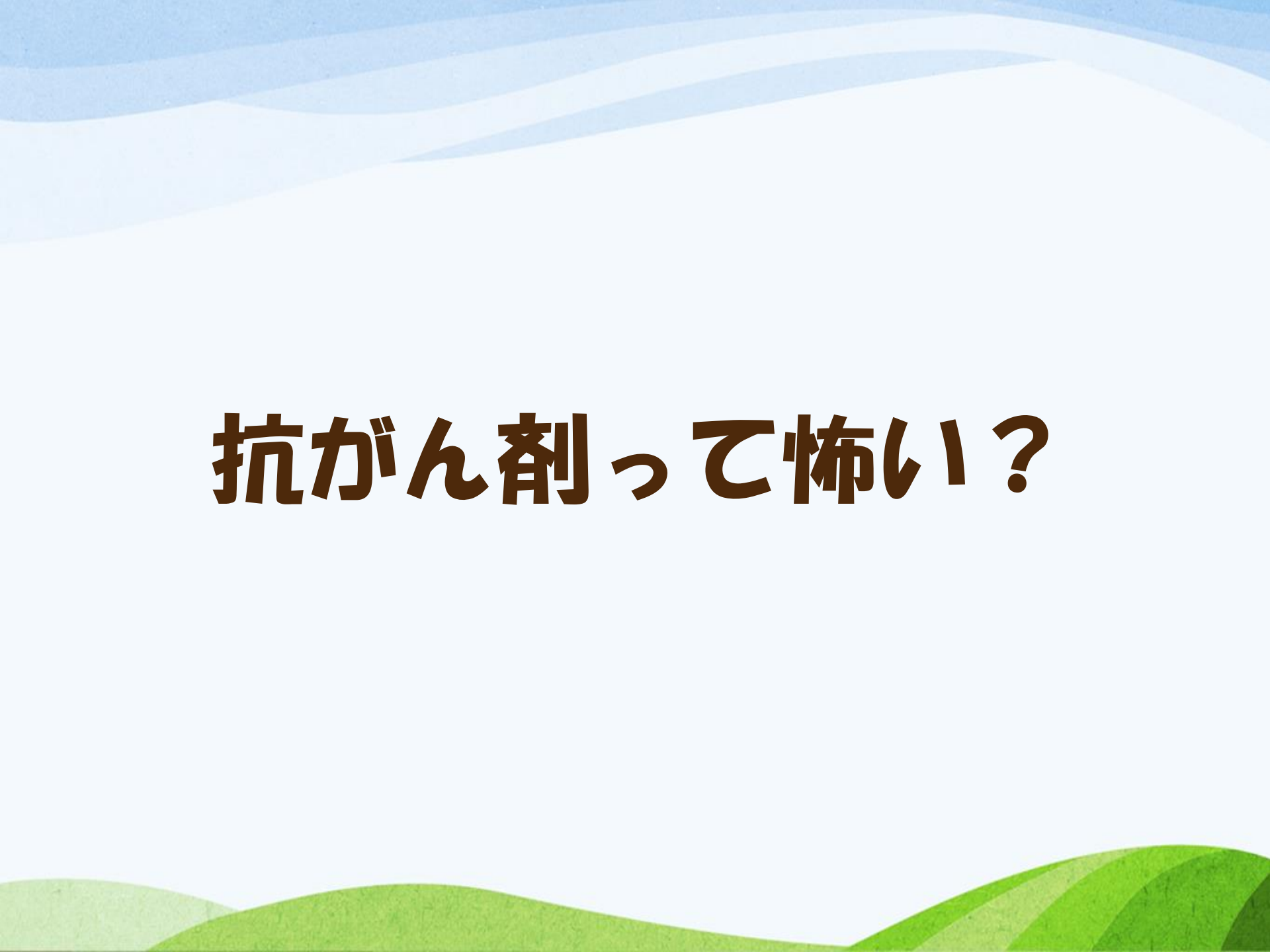


A stylized landscape illustration featuring rolling green hills in the foreground and background. On the left, there is a green tree and a purple flower. A small red bird is flying in the sky. The background consists of wavy blue lines representing the sky.

がん治療薬と副作用対策

岡山医療センター
薬剤部 田頭尚士



抗がん剤って怖い？

がん治療とは

○手術療法・・・がんを含めて正常細胞の一部を切り取って、がんをなくしてしまう治療法

○放射線療法・・・がんのあるところへ高エネルギーの放射線を照射することでがんをなくす方法

○化学療法・・・**抗がん剤**による治療

局所療法

全身療法

がん薬物療法（化学療法）とは

○ 化学療法剤

- (1) アルキル化剤
- (2) プラチナ化合物
- (3) 植物由来物質
- (4) 抗腫瘍性抗生物質
- (5) 代謝拮抗剤
- その他

○ 内分泌療法剤（ホルモン剤）

- (1) 抗エストロゲン剤
- (2) アロマターゼ阻害剤
- (3) LH・RHアゴニスト
- (4) 黄体ホルモン剤
- その他

○ 分子標的薬剤

- (1) モノクローナル抗体
- (2) チロシンキナーゼ阻害剤
- その他

○ BRM・サイトカイン（抗腫瘍性）

- ◆ BRM
- ◆ IFN α ・IFN β ・IFN γ
- ◆ IL-2

がん化学療法における副作用

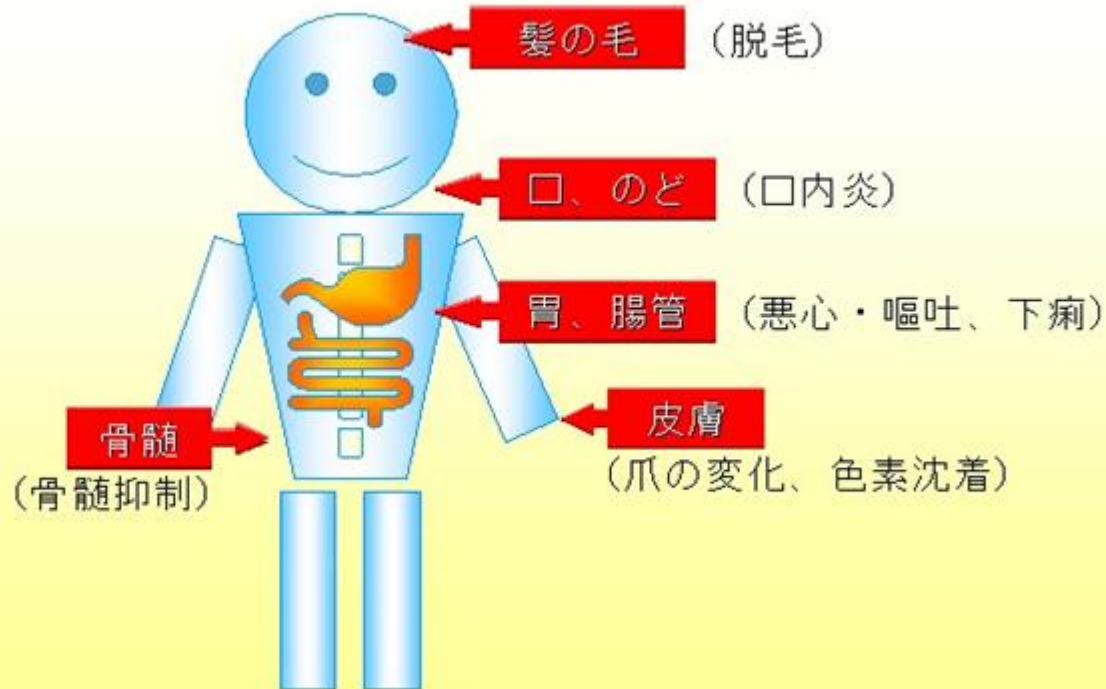


無差別攻撃



- 正常な細胞も、がん細胞も療法やっつけるので副作用が出る
- 細胞分裂が盛んな部位がよりダメージを受ける

細胞分裂が盛んな部位



副作用の発現時期

悪心・嘔吐
ショック
血管痛

遅延性悪心・嘔吐
全身倦怠感
便秘

脱毛

神経障害
しびれ

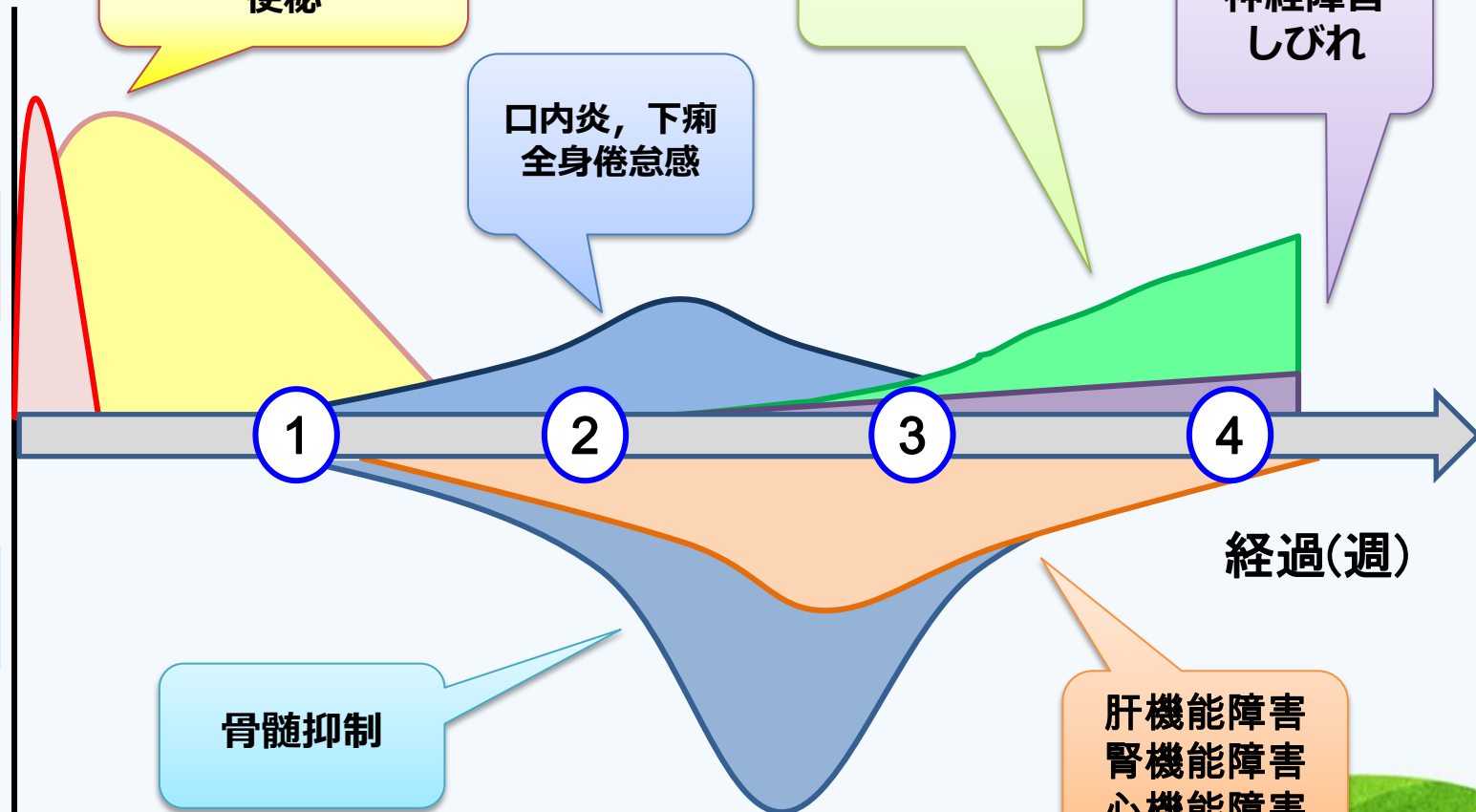
自分でわかる
副作用

口内炎, 下痢
全身倦怠感

検査でわかる
副作用

骨髄抑制

肝機能障害
腎機能障害
心機能障害



がん化学療法における副作用

- 悪心・嘔吐
- 骨髄抑制
- 脱毛

悪心・嘔吐のタイプ

■ 急性悪心・嘔吐

化学療法後、24時間以内に発現する悪心・嘔吐

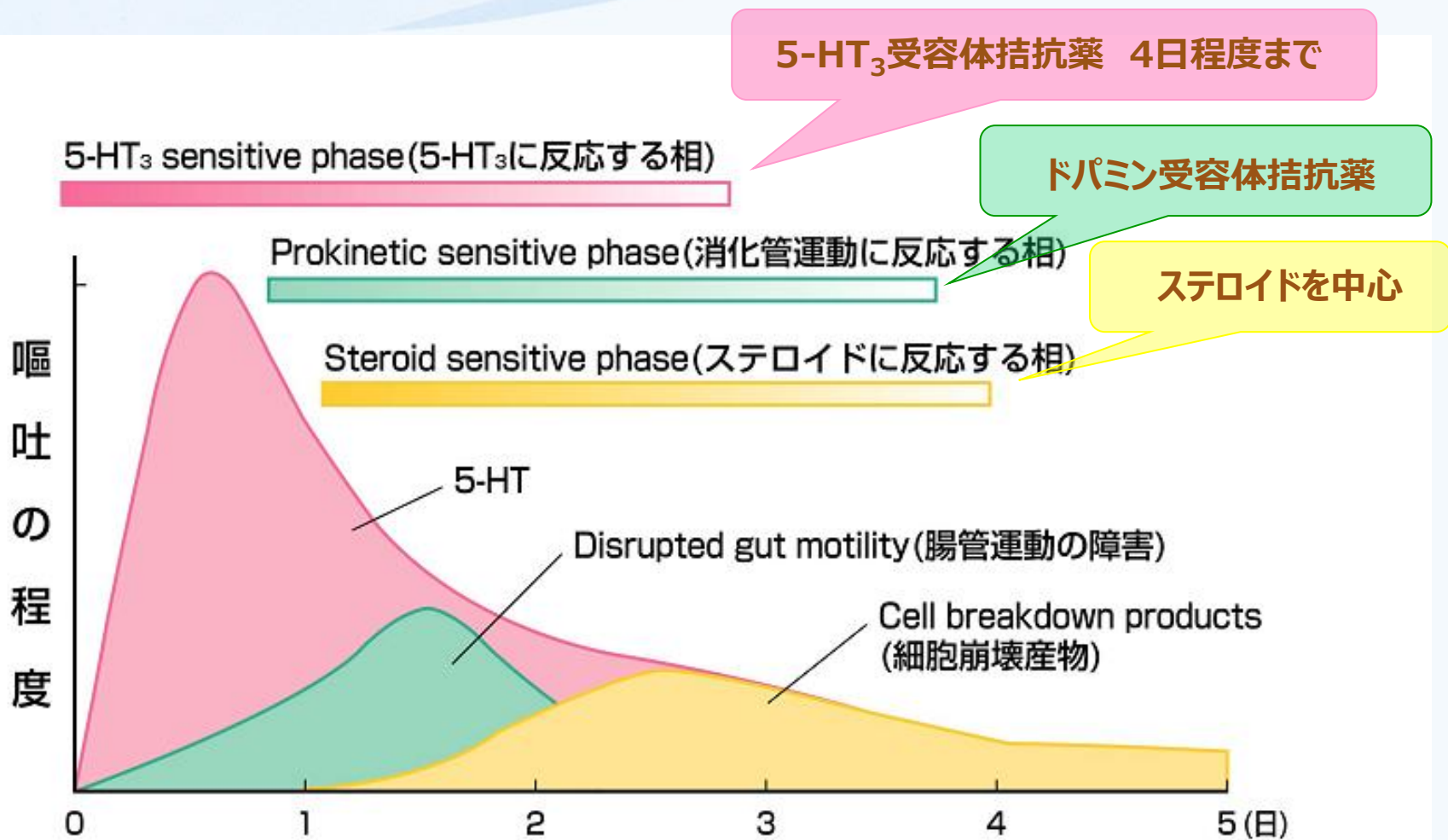
■ 遅延性悪心・嘔吐

化学療法後、24時間以降に2～5日間発現する悪心・嘔吐

■ 予測性悪心・嘔吐

化学療法を開始する前から発現する悪心・嘔吐

悪心・嘔吐のメカニズム



症状の出現時期により使用する薬剤が異なる

悪心・嘔吐を和らげるための方法

- 点滴での治療の場合、開始2～3時間前は物を食べないようにする
- 辛いものや脂っこいものはなるべく控える
- 食物のにおいが気になる場合は、冷やした料理や室温に冷ました料理をとる
- 食後はゆっくり休息をとる。吐き気を催したら横向きで体を曲げて休んでみる
- 吐いた後すぐに水分をとると吐きやすくなるので、冷水のうがいだけにする。みぞおちあたりを冷やすことにより楽になる場合もある

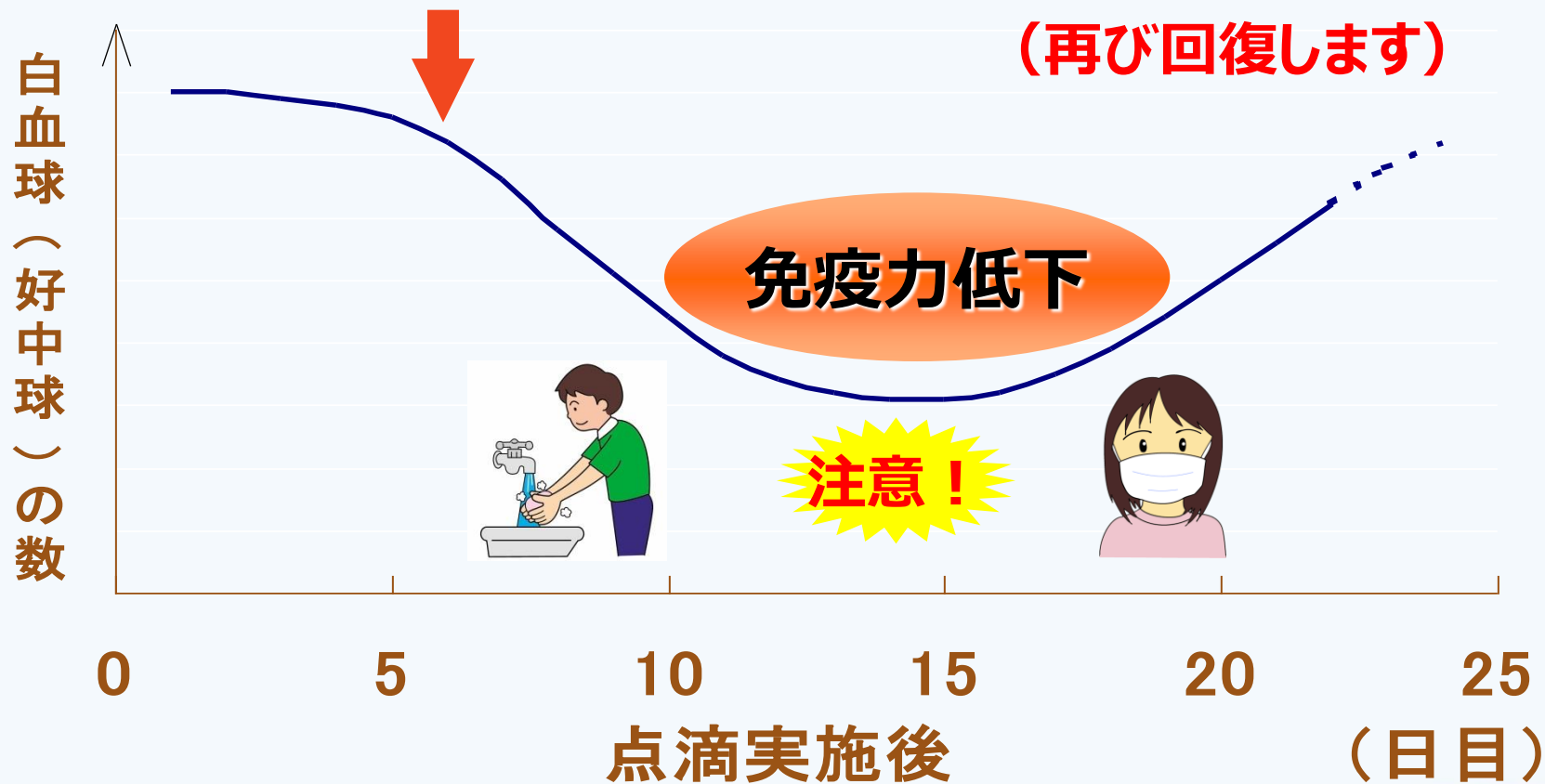
がん化学療法における骨髄抑制

	発症機序
感染症	白血球（好中球）減少により、易感染性となる 比較的早期に出現しやすい
貧血	赤血球減少によるものでゆっくり出現 癌化学療法を繰り返し行った場合に出現することが多い
出血傾向	血小板減少による出血傾向 白血球減少と同様の周期で出現することが多いが、血小板減少のみ出現することもある

白血球（好中球）減少の推移

好中球や白血球の数が徐々に減り始めます

（再び回復します）



白血球減少時の注意点

感染の兆候があれば医師に連絡



- 発熱
- 悪寒
- 咳、痰、喉の痛み
- 口腔・口唇の痛み
口腔内水疱
- 鼻や耳の痛み、閉塞感
- 頻尿、排尿時痛
- 下痢、腹痛
- 肛門・陰部の発赤・腫脹、かゆみ、痛み、浸出液
- 皮膚の水疱
- 傷、カテーテル挿入部の発赤・腫脹・痛みなど

白血球減少時の注意点

◎感染予防に努める

- 手洗い、うがい

（固形石けんは常に乾燥させておくこと）

- 入浴（発熱時や体調不良時には控える）や歯磨き
- 人混みや感染のある人との接触は避ける
- 虫歯、口内炎、痔核、傷の処置は抗がん剤投与前に治療しておく
- 切り傷などを作らないよう注意する

脱 毛

脱毛は一過性、可逆的

- 抗がん剤を投与して2～3週間後に始まり、治療終了後3～6ヶ月で再び生え始める。
- 脱毛の開始時期、状態は個人差が大きい。
- 毛の質・色が変わることがある。

脱 毛

生活上の注意

- 脱毛が生じた時に目立ちにくくし、脱毛の量を少なくするため、あらかじめ髪を短くしておく
- ウィッグ（かつら）やバンダナ、帽子などを準備する
- 脱毛が生じたら、無理に髪を抜かないで、自然のままにする
- 頭皮にやさしいシャンプー、頭皮に刺激が少ないブラシを使用する。ドライヤーもできれば使用を控えるようにし、使用時には低温でやさしく使用すること

ま と め

- 副作用は自分で分かるものと検査（採血など）をしないと自分では分かりにくいものがある。
- 副作用は薬によっても違いがあるが、発生する時期が違うため、そのことを知っておくことが大事。
- 副作用の出現する種類や症状により対処法が異なる。

サプリメントとは

“サプリメント”はビタミン、ミネラルなどの栄養素が配合された食品を意味する。しかしハーブ、アミノ酸、濃縮されたものなどを含む場合もあり、厳密な定義が存在しない。

あくまで**食品**である。

サプリメントと医薬品との違い

	医薬品	サプリメント
食薬区分	【医薬品】	【食品】
有効性	【効能・効果】	表示できない
摂取方法	【用法・用量】	【召し上がり方】等

サプリメントの注意点 と、その前に

免疫力を高めればがんを治せます！！



サプリメントは免疫力を高めます！！



すると・・・

サプリメントの注意点

あなたにもお望みの効果が！！

多くの方より喜びの声が届いています

※効果には個人差があります

サプリメントの注意点

- ✓ サプリメントはくすりではない
- ✓ エビデンス（科学的根拠）の不足
- ✓ 惑わせる情報があふれている
- ✓ 高い！！

サプリメントと医薬品の相互作用

- セント・ジョーンズワートによるジゴキシン、ワルファリン、テオフィリンなどの薬物の効果減弱
- イチョウ葉エキス服用による抗血小板薬、抗血液凝固薬内服時の出血傾向亢進の可能性

ま と め

サプリメントの全てを否定しているわけではありません！！

- サプリメントは食品である
- 医薬品と相互作用をおこすものもある
- 適切な情報を入手する